

平成30年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

|         |                          |   |          |         |                       |
|---------|--------------------------|---|----------|---------|-----------------------|
| 事務事業名   | 消防施設整備事業<br>(消防分団詰所整備事業) |   |          | 整理番号    | — —                   |
|         |                          |   |          | 担当課係    | 消防総務課                 |
| 事業予算費目  | 款                        | 9 | 消防費      | 記入者職・氏名 |                       |
|         | 項                        | 1 | 消防費      | 内線等     | 118                   |
|         | 目                        | 3 | 消防施設費    | 事業区分    | 経常事業                  |
|         | 大事業                      | 1 | 消防施設整備事業 | 事業期間    | 単年度のみ<br>平成 30 年 ~ 年度 |
| 事業の実施主体 | 市(委託・補助事業含む)             |   |          |         |                       |
| 根拠法令等   | 小松島市公共施設等総合管理計画          |   |          |         |                       |

■事業の概要・全体計画等(政策の発生源、提案に至るまでの理由)

既存の消防団第9分団詰所は、新耐震基準(昭和56年6月1日)以前に建築され、耐震化が必要となっている。また、交通量の多い県道に立地し、消防車等の入出庫や緊急時の参集等にも支障を及ぼしていることから、分団の移転のため詰所の新築工事及び駐車場の整備工事を行う。大規模災害時等においても、消防団の活動拠点として利用できるよう整備を行うことで、消防団員の安全確保及び地域防災力の強化を図る。

|       |   |
|-------|---|
| 事業の内容 | 手段(計画している主な活動の内容、手段、手順)<br>昭和50年に建築された(旧耐震化基準)消防団第9分団詰所の新築移転工事及び周辺駐車場の舗装整備をするものである。                                     |
| 事業の目的 | 効果(事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか)<br>消防分団詰所を耐震化することにより、大規模災害時においても消防団員が分団詰所に参集し、消防車両等を使用した初動活動が迅速、的確に遂行することができ、市民の安全、安心に繋がる。 |

■総合計画(前期基本計画)との整合性

|  |  |                    |      |                      |
|--|--|--------------------|------|----------------------|
| 事業目的が総合計画(前期基本計画)上の施策に結びついているか?  | <input checked="" type="checkbox"/> いる | 総合計画(前期基本計画)上の位置付け | 基本目標 | 1. 安全・安心なまちづくり       |
|  | <input type="checkbox"/> いない           |                    | 大項目  | ① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり |
|  |  |                    | 中項目  | ①安全・安心で快適に暮らせるまちづくり  |
|  |  |                    | 小項目  | 地域防災力の充実強化           |
| (理由)<br>消防団は、地域防災力の中核的な役割を担うことから、その活動拠点である消防団詰所の耐震化は必要であり、総合計画基本方針の防災・減災対策の推進(地域防災力の向上)に結びついている。 |  |                    |      |                      |

■他の自治体の類似する政策との比較検討

他市町村についても計画的に老朽化した消防団施設の整備に取り組んでいる。また、公民館や避難施設の機能を持った複合施設として新たに建設している市町村もある。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・**無**) ○を入れてください。

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| 事業の対象                             | 対象(誰、何を対象にしているのか)   |
|                                   | 消防団員が活動する上での重要である消防施設   |
| 事業の意図                             | 意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)  |
|                                   | 災害時の即時対応力の強化を図ることができる。  |
| 事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか | (市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)  |
|                                   | 地元消防団第9分団より現在の消防分団詰所は、老朽化しており、また、交通量の多い県道に立地し、消防車の入出庫や緊急時の参集等にも支障を及ぼしている等の理由により改善の要望があった。 |
| 事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?           | (社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか)  |
|                                   | 人口減に伴っての消防団員数の減少  |

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

|       |                | 全体計画                    | 30年度   | 31年度   | 32年度 | 33年度以降 | 最終年度 |   |
|-------|----------------|-------------------------|--------|--------|------|--------|------|---|
| 全体コスト | 財源内訳           | 国 県 支 出 金               | 0      |        |      |        |      |   |
|       |                | 地 方 債                   | 33,500 | 33,500 |      |        |      |   |
|       |                | その他(利用者負担等)             | 0      |        |      |        |      |   |
|       |                | 一 般 財 源                 | 0      |        |      |        |      |   |
|       | A 直接事業費(千円)    | 33,500                  | 33,500 | 0      | 0    | 0      | 0    |   |
|       | 人件費            | 正 規 職 員 数               | 0.10 人 | 0.10 人 | 人    | 人      | 人    | 人 |
|       |                | 職 員 人 件 費 ①             | 694    | 694    |      |        |      |   |
|       |                | 臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数         | 0.00 人 | 人      | 人    | 人      | 人    | 人 |
|       |                | 臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ② | 0      |        |      |        |      |   |
|       | B 人件費計(千円) ①+② | 694                     | 694    | 0      | 0    | 0      | 0    |   |
| A + B | 34,194         | 34,194                  | 0      | 0      | 0    | 0      |      |   |

|         |                           |  |    |   |
|---------|---------------------------|--|----|---|
| 有効性について | ① この事務事業を行わない場合の影響はありますか? | <input checked="" type="radio"/> ある<br><input type="radio"/> a ない    | 理由 | 当該事業を実施しない場合は、大規模災害時、建物倒壊等の危険もあり、格納している消防車も被災し、継続的な消防団活動を実施することができなくなる。 |
|         | ② 類似事業との整理統合はできないか?       | <input checked="" type="radio"/> できない<br><input type="radio"/> a できる | 理由 | 類似事業はない。  |
|         | ③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?    | <input checked="" type="radio"/> ない<br><input type="radio"/> a ある    | 理由 | 当該事業は、消防分団詰所の新築工事及び駐車場の整備工事を行う事業であり、成果をさらに向上させる余地はない。                   |

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 有効性 | ① |  |
|     | ② |  |
|     | ③ |  |

所属長による総合的なコメント

大規模災害時、消防団員の役割としては、参集、市民の避難誘導から始まり、発災後の市民のケアまで幅広く、市民と直結した活動をしなければならない。消防団員が継続的に任務を遂行するためには、災害拠点施設が必要不可欠であり、この事業は、実施しなければならない。また、他の耐震化できていない分団詰所においても、今後、個別計画を早急に策定し、小松島市公共施設等あり方検討会議に諮り、計画的に整備しなければならない。さらには、将来的な消防団員数の動向も視野に入れ、地域の消防体制、消防力を維持することを大前提とし、小規模で近接した分団間の統合についても検討しなければならない。